

鑑別所に「愛の金庫」と名づけて預託し受刑者が満期になつて、金で困つた時書類もハンも不要で、「この金を自由に更生のため、つかいなさい」と利用させて居ります。又、刑務所前の花壇の手入、本の差入等をささやかながら、継続して行なつて居ります。最近この婦人会が表彰の対象になつて居りますが、表彰よりも、つましく永く続けて行きたいものと存じます。

最近首相渡米に対する学生の阻止運動、ベトナム反戦を唱えて焼死自殺等の色々の事が続出して居りますが、今こそ現実の場に於いて、理想と行動の統一を図り社会性に立つた倫理感こそ必要であり、求道すべきだと断ずるのは私一人の偏見でありませうか。

第350区	9月出席率	平均出席率	92.99%
順位	クラブ名	出席率	
1位	網走	100%	
1位	遠軽	100%	
1位	北見東	100%	
1位	帯広北	100%	
23位	函館北	96.50%	
26位	函館	96.09%	
37位	函館東	93.25%	

※ ロータリーの友 11月号より

「聞く」と言うこと 抜すい 函館R.C 四倉太郎

例会には卓話があり、最近のめざましい会員数の増加にともなつて、卓話を聞く会員の態度が折にふれて問題となる。いや、会員だけの問題につきない、それは大きな個人的、社会的な意義を含んでいると思う。

私は時折「上手に話すにはどうしたらよいか」と尋ねられるが、その答は「上手な人の話を聞いて学ぶ事は、誰でも知つて居るが、下手な人の話を聞いて、退屈であつても我慢して最後まで聞いて、そういう話し方を自分がしなければよい。私ならば後の場合によつて学ぶことが多い」と。

あわただしい現実社会なればこそ、ジツクリ聞いて、よりよき人間形成に役立たせたいものである。そして、それを支えるものは、人生の永遠の哲学「我慢」であらう。



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第176号

1967-1968-11-29

函館北ロータリークラブ

第176回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

1230~1330

ロータリアンとしての

あなたの資格を 効果的に

ルーサーH・ホツジス会長

- ※ 司 会 俣野会長 ※ 斉 唱 我等の生業
- ※ ゲスト 金子友一氏 (函館赤十字血液センター)
- ※ ビジター 勝木鉄雄君外6名 (函館) 大鎌政雄君外10名 (函館東)
- ※ 遠藤出席委員長

去る9月を出席率100%達成月間と致しましたところ、会員各位の御協力に依り96.5%と言う素晴らしい成績をあげました。来る12月は第2回目の運動月間であり、年末の多忙時ではありますが、是非メーキャップ等の利用により達成致したいと存じますのでご協力願います。

- ※ 市川親睦委員長
- クリスマス家族会、年末懇親会打合せのため、本夕委員会を行ないませう。
- ※ 出席報告

1. 本日の状況 会員36名 出席30名 欠席6名
2. 前回確定率 会員36名 出席28名 欠席8名  
他クラブ出席4名 出席合計32名 88.89%
3. 他クラブ状況 函館R.C休会 函館東96.05%

※ 卓 話 “血液の話” 函館血液センター 金子友一氏

『献血手帳なくば輸血を要する入院は出来ない』と言うのは誇張した表現であります。それ程、現在の輸血状況は献血なくして存在しない実情であります。昭和26年売血の歴史から始まる血液銀行(株式)が設立し、東京、大阪の人の売血で全国需要年高8000本を確保した訳ですが、昭和38年には、300万本の需要となり、不適格なる売血除外数字を加算すれば膨大なる血液が不足し、献血が重要な比重を占めるに至りました。

献血とは、お互に血液をだしあい、輸血の必要な患者の“いのち”を、守る





第177回例会

例会場 函館拓銀ビル  
例会日 毎週水曜日  
12.30～13.30

事にあると共に、献血した方が不幸にして輸血を必要とする場合は、献血による保存血液を優先的に還元保証される仕組みになつて居ります。

道内の保存血液状況は昨年で年間12,114本の需要に対し9,969本を自足し、残余を管外移入で補う。渡島管内では1日50本の需要に対し自給数は30本と言う不安定な実情であり献血に就いては特段の御関心と御配慮を御願ひ申します。献血で最も問題になるのは、からだに影響ないかと言う事であり、血液の量は、体重の13分の1といわれて居ります。200°Cの採血量は、体重50kgの人では、全血液量の5%にしかすぎません。12%まで心配ありません。よつて採血により健康がそこなわれる事もなく、平常の仕事が続けて差支えありません。然し献血により血清肝炎等の疾患になる場合がありますので、献血者には検診をなし適不適をきめて健康の方のみと強い規制をして居ります。古代から死者に赤い色素をかけて再生を祈る宗教儀式は存在した様ですが、医学の立場で輸血に成功したのは1929年(今より138年前)で、英国で先鞭をつきました。然し当時は血液型に対する学究が不完であり、色々と障害が発生し一時禁止されましたが、60年程に血液の型が究明されてから長足の進歩を遂げ第一、第二世界大戦で現在血液医学の決定的基礎が完成された次第であります。血の歴史は人間の歴史であります。皆さんの今後一層の御厚配を賜ります様、切に御願ひする次第であります。

一週一言 「百聞は一見に如かず」

第353区ガバナー 渡辺綱彦氏  
(ロータリーの友 11月号より)

ロータリーは人造りであり国づくりである。ロータリー僅か64年で世界130ヶ国、会員60万名と言うすばらしい発展をとげた所以である。創設当時は会員4人、交通機関も発達してなかつた時代だから、主に手近かな地域社会の奉仕にとどまつた事であろう。而し現在ではこれにとどまらず、東南アジア諸国を始め、また沢山の世界社会の機会があると思う。今回レークブランツの国際協議会に出席して目のあたりにこの目で見、また生の声をきいて多くのロータリアンと話し合いをしたら、何かしらロータリーの真髄にふれた様な感じになり、「百聞は一見に如かず」の古いことわざがピンと感じました。時代と共に奉仕の対象を代えてこそロータリーは常に若々しく発展し、マンネリズムにおち入らないだろうと思う。

◎ ロータリアンとしての

あなたの資格を効果的に

ルーサーH. ホツジス会長指針

本日のプログラム  
スライド「よりよき世界を創るために」

- ※ 司 会 侯野会長
- ※ 斉 唱 奉仕の理想
- ※ ビジター 野口誠一郎君(小樽・酒類) 世木沢登君(旭川・酒類)  
新開春吉君(森・商工会議所)  
日下部久次君外9名(函館) 西村敏雄君外6名(函館東)
- ※ 幹 事 報 告
  1. 例会終了後理事会を行ないます。
  2. 函館R.C 12月21日の例会は23日17時半～(於拓銀ビル8階)と変更になりましたので御注意下さい。
  3. 札幌々南R.C 12月22日の例会は家族会をかねて17時半～(於北海道経済センター)に変更。
- ※ ニコニコボツクス
  1. お誕生日おめでとう 杉本隆治会員
  2. ご結婚記念 ♪ 外山会員・高杉会員・山内会員・新会員  
岩塚会員
  3. 入会記念 ♪ 侯野会長・市川会員・高杉会員・平野会員
  4. 御事業拡張 ♪ 塚田会員(石油スタンド)
- ※ 出 席 報 告
  1. 本日の状況 会員36名 出席28名 欠席8名
  2. 前回確定率 会員36名 出席30名 欠席6名  
他クラブ出席4名 出席合計34名 94.44%
  3. 他クラブ状況 函館R.C 94.23% 函館東97.33%
  4. 月間出席率 函館北 94.44% 函館東 94.33%  
函館～未達